

やまとの名品 天理図書館

大學
朱熹章句
子程子曰大學孔氏之遺書而初學入德之門也於今可見古人為學次第者獨賴此篇之存而論孟次之學者必由是而學焉則廢乎其不益矣
大學之道在明明德在親民在止於至善知止而后有定定而后能靜靜而后能安安而后能慮慮而后能得物有本末事有終始知所先後則近道矣古之欲明明德於天下者先治其國欲治其國者先齊其家欲齊其家者先脩其身欲脩其身者先正其心欲正其心者先誠其意欲誠其意者先致其知致知在格物物格而后知至知至而后意誠意誠而后心正心正而后身修身修而后家齊家齊而后國治國治而后天下平自天子以至庶人壹是皆以脩身為本其本亂而未治者否矣其所厚者薄而其所薄者厚未之有也

ししよ ごきょう
四書・五經

まつ だいら さだ のぶ
松平定信自筆

文化2年(1805)写 26軸

縦25.9cm

江戸時代中期の老中・松平定信（一七五八〜一八二九）は、寛政の改革を行うなど政治家として有名だが、『花月日記』『集古十種』などを著した文人でもあった。また書物を書き写すことを好み、『源氏物語』に至っては、全五十四帖を七部も書写するほど熱心であった。儒教の教典、四書（論語・大学・中庸・孟子）五経（易経・書経・詩経・礼記・春秋）も書写しており、掲出本は文化二年（一八〇五）に写し終えた『大学章句』。カットの「題箋集」は、定信の人脈を駆使して、紀州藩第十代藩主・徳川治宝や水戸藩第六代藩主・徳川治保など、名立たる大名に墨

書を依頼したものの。表紙や料紙・装丁など、造本においても定信のこだわりが伝わってくる。孔子に始まる儒教は、漢の時代から清の時代までの約二千年の間、国教に指定され、中国人の思想の根幹となるものであった。その儒教の教典である四書・五経の日本への伝来は、西暦三百年頃と古く、仏教の伝来より百年以上も前になる。とりわけ中世から近世にかけては、学問・教



養の基本となり、『論語』を中心に庶民にも広く愛読され、日本人の精神文化の形成に深く影響を与えた。因みに、学校の校庭などでよく見かける二宮金次郎の像（薪を背負いながら書物を読んでいるのが読んでいるの像）が読んでいるのは『大学』である。江戸時代、四書・五経がいかに庶民に浸透していたかが窺える。

（天理図書館 森山恭二）

天理図書館のお知らせ Tel:0743-63-9200 <http://www.tcl.gr.jp/>
 ◆平日（午前9時～午後5時半） 土・日・祝（午前9時～午後4時半）
 ○5月の休館日:3日～5日・30日
 （本欄にて紹介した名品の閲覧については係へお尋ねください）